

2018年5月31日

京都府知事 西脇隆俊 様

日本共産党京都府議会議員団

団長 前窪 義由紀

航空自衛隊「奈良基地祭」における「飛行展示」中止を求める申し入れ

航空自衛隊は「2018年 奈良基地祭」を6月2日（土）に開催し、自衛隊所属のF15戦闘機が基地周辺で「飛行展示」するとしている。すでに5月29日には、事前飛行が行われ、京都府南部地域においても飛行が目撃されている。

これまでも、「奈良基地祭」に伴う自衛隊機の飛行では、京都府南部地域を低空飛行し、突然の爆音に保育園で睡眠中の園児が目を覚ましたり、学校の授業が中断するなど、府民生活に重大な影響を及ぼしてきた。

今回の飛行予定でも、宇治市や木津川市、精華町など府南部上空を通過し、奈良基地上空を中心に周回することが予測され、平穏な住民生活に重大な影響を及ぼしかねない。

安保法制（戦争法）の強行、さらに安倍首相の2020年までの憲法9条改憲発言や、イラク日報の隠ぺい問題など、府民の中に「戦争する国」への不安と怒りが高まっている。

さらに最近では、今年2月、佐賀県神崎市で住宅街に自衛隊ヘリコプターが墜落し死者2名が出るなど自衛隊機の重大事故が頻発しており、自衛隊機の飛行に不安が広がるのは当然である。

よって、京都府におかれては、府民生活の安全・安心を確保するため、防衛省と航空自衛隊及び航空行政を所管する国土交通省に対し、「奈良基地祭」における「飛行展示」訓練飛行の中止を申し入れるよう、強く要望するものである。

以上